

TOKKATSU

特活通信

2025 年 5 月 10 日 第 5 号

発行 日本特別活動学会

会長 安井一郎（獨協大学）

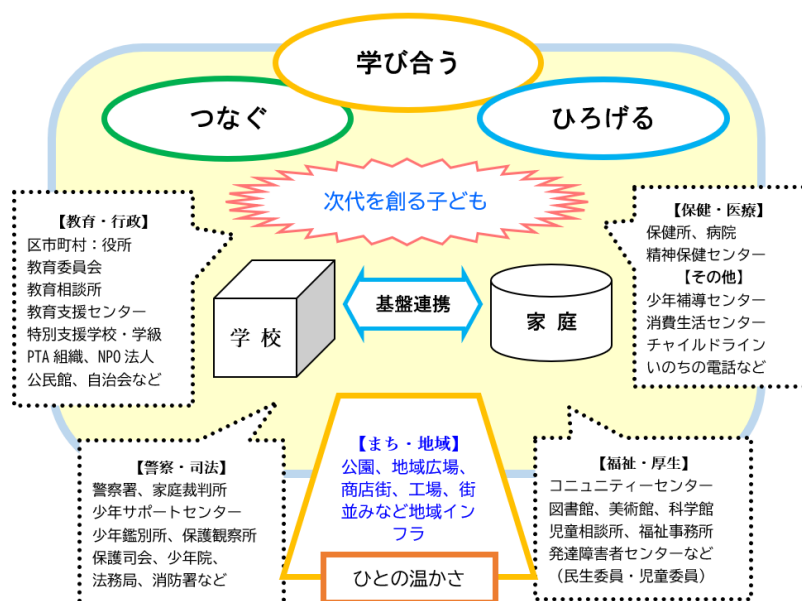
文責 有村久春（東京聖栄大学）

特別活動は子どもと社会をつなぐ、共生社会を実現する教育です

特別活動は「開かれた教育課程」を実現する場です。例えば、学級活動の一環として行われる**職場体験**では、地域の高齢者福祉施設や商店街の方々に協力いただき、**子ども達が社会を知る**機会となっています。それだけでなく、**子どもの視点を通して**、福祉施設や商店街の方々も**自身の仕事の意味を再確認**する機会にもなっています。「**つながる**」ことの大切さを大人たちに改めて感じてもらえているようです。

現代の社会は、個と個が分断し、社会との絆が弱くなっているという課題があります。特別活動の「**つなぐ**」「**学び合う**」学習を粘り強く続けることで、子ども達は自分たちの地域をよくしていこうとする**自治的能力**を高めることができます。さらにこれらの活動を通して、個と個をつなぎ、個と社会をつなぐ**共生社会を実現**することもできるのです。

社会のリソースに学ぶ子ども



【中2生徒・体験談】

私の職場体験は、高齢者ケアセンター。体験後のプレゼンで「ケアセンターのことを深く知りたい」「そこで働く社会福祉士の話が聞きたい」などの声があがりました。これをきっかけに、生徒会主催でシンポくケアマネの方と福祉を学ぼう>を行いました。社会福祉士の先生も「生徒さんたちのおかげで高齢者ケアの大切さを再認識しました。ありがとうございます」と語ってくれました。

参考：今回の教育課程の基準・諮問文（R6.12.25）、学習指導要領（H29 告示）等：有村作成

共生社会をつくる特別活動の実践

- | | | |
|----|------|---|
| 例1 | 人材活用 | 「いじめは法律違反？」⇒未然の予防策を弁護士の先生と学び合う（中2：学級活動） |
| 例2 | 施設体験 | 「A 科学館を調べよう」⇒片付け方や便利な生活を見直す（小4：学校行事+学級活動） |
| 例3 | 創造活動 | 「わがまちもりあげ隊」⇒地域の良さを知りお祭りを一緒に楽しむ（小6：児童会活動） |
| 例4 | 地域貢献 | 「私の特技サービス」⇒高齢者と将棋やお茶を体験し交流する（中3：生徒会活動） |
| 例5 | 自己発揮 | 「不登校支援」⇒サポートルームで進路に向けて学び合う（高1：ボランティア活動） |

自らを創る力（自治）と、社会の豊かさ（文化）に貢献します。